

# 第75回 宮城県中学校総合体育大会

## 第75回 宮城県中学校ソフトボール競技大会要項

### 1 目的

この大会は、中学校教育の一環として中学校生徒に広くソフトボール競技実践の機会を与え、技術の向上とアマチュアスポーツ精神の高揚を図り、心身ともに健康な中学校生徒を育成するとともに、中学校生徒相互の親睦を図るものである。

### 2 主催

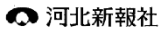

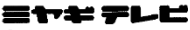



宮城県中学校体育連盟 宮城県教育委員会

### 3 共催

仙台市教育委員会

### 4 後援

宮城県中学校長会 仙台市中学校長会 宮城県PTA連合会 (公財)宮城県スポーツ協会  
(公財)仙台市スポーツ振興事業団 宮城県ソフトボール協会

 河北新報社  NHK 仙台放送局  ミヤギテレビ  
 TBC東北放送  khb 東日本放送  仙台放送

### 5 主管

宮城県中学校体育連盟ソフトボール専門部 仙台市ソフトボール協会

### 6 期日

令和8年 7月19日(日)～7月21日(火) 雨天の場合は順延 ※20日(月・海の日)は実施しない  
※予備日 7月22日(水) 23日(木)

### 7 会場

仙台海岸公園 〒983-0003 仙台市宮城野区蒲生字八郎兵工谷地

### 8 参加資格

宮城県内の各ブロックで選抜された15チーム クラブ予選を勝ち抜いた1チーム

### 9 引率・監督

(1) 学校においては、引率者及び監督は当該校の校長・教員(非常勤は除く)・部活動指導員(※1)とする。ただし、部活動指導員は教育委員会設置要項のもと、以下の条件を満たしていなければならない。

また、中学校体育連盟が主催する大会(予選を含む)で登録できる学校は1校のみであること。

① 満20歳以上であること。

② 主催者からの要望があった場合、大会運営に協力する姿勢があること。

③ 中学校体育連盟の主催する研修会を受講していること。

④ 次のいずれかに当てはまる者とする。

ア 教育教員免許法に基づく免許を有する者。

イ 公益財団法人日本スポーツ協会公認スポーツ指導資格を有する者。

ウ 競技の専門性と学校教育に関する理解を有し、適切な指導を行うことのできる者。

※1 ここでいう「部活動指導員」は、学校教育法施行規則第78条の2に示されている者であり、学校設置者により任用されている者をいう。

(2) 部活動指導員が監督、引率をする場合は、教育活動の一環としての大会であるとの観点から、「顧問または当該部活動を担当する教諭等」(※2)がチームに帯同すること。

※2 「学校教育法施行規則の一部を改正する省令」1部活動指導員の職務第2留意事項(3)(4)より。

(3) コーチは、当該校校長が認めた「外部コーチ」とする。外部コーチは1名、ベンチ入りすることができる。

※ 「外部コーチ」については「第74回宮城県中学校総合体育大会要項」に従い「校長が承認した者で日常の学校部活動の指導にあたる者」と定義する。校外でクラブチーム等の指導にあたる「校外コーチ」はこれに含まれない。

※ 中学校教員・校長・外部指導員が他校の外部コーチとして、また行政に勤務している教員が外部コーチとしてベンチに入ることは認めない。

(4) その他の団体においては、同一競技内において、中学校体育連盟が主催する大会(予選を含む)で監督、コーチとして登録できるチームは1校(チーム)のみであること。

- (5) 本大会に出場するチーム・選手の引率者、監督、部活動指導員、外部指導者（コーチ）、トレーナー等は部活動の指導中における暴力・体罰・セクハラ等により任命権者又は学校設置者から懲戒処分を受けていない者であることとする。また、外部の指導者は校長から暴力等に対する指導措置を受けていないこととする。校長はこの点を確認して、大会申込書を作成する。また、地域クラブ活動においても指導者に暴力等がないことを代表者が確認して、大会申込書を作成すること。何らかの形で虚偽や暴力等の事実が判明した場合は参加を認めない。

## 10 チーム

選手18名、監督1名、引率責任者1名、コーチ1名の計21名以内とする。

## 11 競技規則

- (1) ルールは、(公財)日本ソフトボール協会2026年オフィシャル・ソフトボールルールに準じる。
- (2) 使用球は、ゴム製検定12インチ(ナガセケンコー)とする。なお、試合球は主催者側で用意する。
- (3) サスペンデッドゲーム(一時停止試合)を適用する。
- (4) コールドゲームを適用する。(ただし、3回15点、4回10点、5回以降7点以上の差が生じた場合)また、7回終了時同点の場合は、タイブレークを適用し勝敗が決まるまで行う。
- (5) コーチズボックスの一方に、監督・コーチが入ることを可とする。ただし、その際のベンチ内には、引率者、監督、コーチのいずれかが必ずいること。
- (6) コーチにはフィールディングは認めるが、選手交代・タイムの要求・抗議等の権限は認めない。また、ベンチから出て指示することも認めない。
- (7) 金属製スパイク及びセラミック製スパイクは禁止する。

## 12 競技方法

トーナメント方式

## 13 表彰

優勝チームには優勝旗(持ち回り)・優勝杯(持ち回り)・賞状  
準優勝チームには準優勝杯・賞状、3位にはトロフィーと賞状をそれぞれ授与する。

## 14 抽選

6月22日(月)午後2時より仙台市立柳生中学校にて、各郡市専門委員による代理抽選を行う(最初、最多複数代表地区から始める。次いで、今年度は参加校一覧の上から行う)。

## 15 申し込み

出場資格を得た学校は 所定の用紙に必要な事項を記入の上、6月17日(水)必着で、下記の宛先に申し込むこと。申込みデータは宮城県中体連のHPからダウンロードすること。

- ①大会参加申込書(職員を押印し、PDF化したものを送信してください)

名取市立増田中学校 大河内琢磨 電話 022-384-2329  
E-mail:01kuma1855@gmail.com

- ②全体プログラム掲載用データ・中体連事務局報告用名簿・パンフレット掲載用データ  
(下記のE-mail宛にデータを送信してください)

仙台市立郡山中学校 佐藤 英明 電話 022-248-0071  
E-mail: ts006841@g.sendai-c.ed.jp

※本大会で登録された者が、本大会通過後の東北大会ならびに全国大会での登録メンバーになるので、十分に注意すること。

- ③合同チームの参加承認願いは、所定の様式で郡市大会終了後速やかに県中体連会長、専門部会長あてに提出すること。
- ④申込書に記載する、選手氏名・学校名・学年等の情報は本大会プログラムへ掲載し広く公表し、大会結果集約に利用する。記載・掲載に関して各学校で同意を確認し、同意が得られない場合、事情がある場合は抽選会までに宮城県中学校体育連盟事務局へ連絡を入れること。特に申し出がない場合は上記内容を承諾したものとす。

## 16 諸会議

専門部会(抽選会) 6月22日(月) 午後2時00分より 仙台市立柳生中学校にて  
監督会議 7月18日(土) 午後2時00分より 仙台市内中学校  
※会場準備 7月18日(土) 午前10時より

※監督会議には監督はユニフォーム着用の上必ず出席すること。

※昨年度の優勝旗、優勝杯等を監督会議に持参すること。

閉会式・表彰式 決勝戦終了後、3位表彰は準決勝後 ※開・閉会式は実施しない。

## 17 宿泊等

宿泊、昼食などの申し込みについては各校の責任において業者に対し直接行うこと。

## 18 大会申し合わせ事項

### 1. ルール（公式ゲーム）に関する事項

- (1) 外部指導者（コーチ）登録は1名とし、ユニフォームナンバー31または32とする。
- (2) ユニフォームの背中に個人名を入れる際には、プログラムに掲載の姓名を表示すること。（姓または名のみでもよいが、ニックネームなどは不可とする。）また、学校教育の発表の場であることを踏まえ、ユニフォーム・ヘルメットに広告を入れることは認めない。（チーム名の表示は可）（全競技共通）
- (3) 監督・部活動指導員・コーチ・外部指導者（コーチ）のユニフォームの上着は、選手と同色・同意匠のものとする。裾を外に出すユニフォームの時は、監督・部活動指導員・コーチ・外部指導者（コーチ）は中に入れるタイプでもかまわない。
- (4) 選手が襟付き、またはノースリーブのユニフォームの場合、監督・部活動指導員・コーチ・外部指導者（コーチ）も同じものを着用する。また、選手が半ズボンの時、監督・部活動指導員・コーチ・外部指導者（コーチ）は同色のズボンで良い。（サイドラインなどがなくてもかまわない）
- (5) 合同チームのユニフォームについては統一されたものが望ましいが、統一できない場合であっても、ユニフォームナンバーの重複はしないこと。また、大会本部の判断によりビブスの着用を求めた場合には応じること。

### 2. 競技（公式ゲーム）に関する事項

- (1) 登録選手以外の選手は、自チーム側の応援席にいること。
- (2) 競技場の外野及びファール地域フェンスの内側には、校旗（部旗）・横断幕・のぼりなどを掲示しない。
- (3) 監督を兼務しない引率者の服装は、襟付きのシャツ・長ズボン・またはスカートで靴を履くこと。（Tシャツ、サンダルやハイヒールは禁止）
- (4) 試合中は、ベンチ内で写真・動画の撮影は行わない。
- (5) 投球時、投手がセットしたらリリースするまで、ベンチもスタンドも応援を中断する。
- (6) 応援は鳴り物（ペットボトル・うちわなども含む）は禁止する。大会の品位を汚すような野次や、審判員のコールに対する野次があった場合には、試合を中断して当該監督を指導し対処する。
- (7) 選手のサングラスについては、眩惑による危険防止や健康上の目的での使用を認めるが、視野の狭窄や明るさの減衰による視覚の低下、破損について十分に配慮すること。なお、アイシェードなどは認めない。監督は、選手交代の通告など審判員と会話をするときにははずすこと。
- (8) ゲーム中の控え選手のピッチング練習は、ファール地域で1組のみとする。捕手は必ずマスク着用をすること。その際補助となる者を1名つける。
- (9) 試合前の選手紹介のアナウンスは、フィールドイング中に行う。
- (10) 応援席などベンチ外から作戦指示・それにとまなう助言はしてはならない。そのような行為が見られた時は、監督または該当者に注意する。
- ~~(11) 試合進行を迅速にするため、試合後のあいさつは、ホームベースをはさんで行う1回のみとする。審判・相手チーム・ベンチ・応援席への個別なあいさつは重ねて行わない。~~

### 3. 競技場に関する事項

- (1) 保護者・応援席のビデオ撮影は、バックネット裏及びセンターバックスクリーン周辺は禁止とする。
- (2) アミの外野フェンスを使用する場合は、支柱の上部には安全のためカバーを付ける。また、フェンスの上部には、白色・黄色などの帯状のもの（マーカー）を設置する。

## 19. 競技場の注意

- (1) 打順表の記入と提出  
打順表は、試合開始時刻30分前までに、第2試合以降は前の試合の4回終了時、または試合開始60分時に主将が当該球場審判主任に5部提出する。その際、所定の用紙（5枚1組）に必要な事項（登録選手全員）を記入し、氏名に必ず「ふりがな」をつけること。
- (2) 攻守順の決定  
打順表提出時に審判員立会いのもと「コイントス」によって決定する。コイントスの表裏の選択権は打順表持参の先着チームに与える。
- (3) ベンチ  
組み合わせ番号の若い方が一塁側となる。ベンチに入る者は申込書に登録された者（引率者1名、監督1名、コーチ1名、選手18名、計21名以内）とする。
- (4) 競技用具の確認  
競技用具を試合前に確認する。規格外及び危険と思われる用具は当該試合終了まで、本部で預かる。  
（\*注 キャッチャーのマスクのSGマーク）
- (5) フィールドイング  
登録メンバーのみで、後攻のチームより5分以内とする。なお、大会運営の関係で時間を短縮することもあるので、審判員の指示に従うこと。また、危険防止のため、ノッカーは1名とする。

- (6) 試合開始  
集合準備の合図でベンチ前に一列横隊に並び、集合の合図と同時に駆け足でホームプレートを挟んで整列する。  
(自軍ベンチ側の打者席の外側のラインに沿って、キャプテンを先頭にセンター方向へ整列する)

(7) 競技規則

グラドルールで特に定めた場合以外は、2026年度オフィシャルルールを適用する。サスペンデッドゲームを適用するが、5回試合成立を優先する。なお、審判の同一性は担保しない。

オフィシャルルール5-3項より

(2) 5回あるいはそれ以上の回が終了したとき、または後攻チームが先行チームより5回か、それ以上の裏に、多く得点していたとき。

(3) 5回が完全に終了していないときは、無効試合となる。ただし、以下の場合は正式試合となる。

1) 後攻チームが5回裏の攻撃をしなくても、先行チームより得点が多いとき。

2) 後攻チームが5回裏の攻撃中に得点が多くなったとき。

※今大会ではサスペンデッドゲームで対応をする。

(8) ランナーコーチ

コーチズボックスに入ることのできるのは、申込書に登録された者とする。(引率者を除く)

(9) 応援

選手や観客は品位をけがさないようにし、試合中に審判員や相手チームに対して、聞き苦しい暴言や野次を飛ばさないこと。また、笛、太鼓、ペットボトル、メガホンやうちわなどの鳴り物を用いた応援は禁止とする。メガホンの使用は監督のみとする。

(10) 暑熱対策

・試合が連続する場合は、生徒の健康面を考慮し、競技委員長の判断で、次の試合開始までの間にベンチ到着後30～60分の範囲内で休憩をとることもあり得る。(ベンチ入り後、コイントスを行うものとする)

・当日の気候条件(WBGT)を考慮し、以下の給水タイム(3分)をとる。この間のベンチ内、応援席での声出しなどは行わないこと。なお、攻守交代時にも給水を行うこととする。計時の開始、終了の合図はアナウンスで行う。

① 同一チームの守備時間が20分を超える時。

② 3回表、5回裏終了時。

③ タイブレイク時。(7回裏、9回表、10回裏、12回表…1.5イニングずつ)

※給水タイム時には時間を止める。給水後の投手の準備投球は3球以内とする。

・状況により、試合中のチームの飲料の補給が必要な際は、競技委員または審判員で対応する。

・その他、特殊な状況においては、競技委員が給水タイムを設定することもある。

## 20 その他

(1) 登録選手の変更は一切認めない。

(2) 上位2チームが東北大会への出場権を得るものとする。

(3) 決勝と準決勝を除いて、90分を超えて新しいイニングに入らない。ただし、同点の場合は、タイブレイクを採用し、勝敗が決するまで行う。

(4) アップ会場は、試合を行う球場の外野フェンスの外側を使用すること。駐車場や通路及での練習は禁止する。

※保護者はアップ会場には立ち入らない。また、教育的配慮により、背番号のない選手も外野フェンスの外側であれば練習可とする。

(5) 大会中の不慮の怪我や疾病については、当該学校で対処することとする。

(6) 会場への電話による直接の問い合わせはできない。

(7) 観戦者における競技会場内、または応援席や駐車場等、会場周辺の事故、破損等については、大会主催者や施設管理者は一切責任を負わない。一切の事故は自己責任であることを理解した上で観戦するものとする。

※「会場周辺の事故」には、競技中のボール等の用具が車や人に直撃した場合や、風や雷等、天候の影響で起こった場合も含む。

(8) 監督・コーチもユニフォームを着用し、監督・コーチが男子の場合は、帽子を着用する。

(9) 雷鳴があった場合は試合を一時中断し、安全な建物の中へ避難する。木や電柱から4m以上離れるようにする。雷が鳴り終わってから20分後に試合を再開する。

(10) 大会会場内の交通規制に従うこと。

(11) ベンチ内での日よけタープは危険防止のため、デットラインより1m離して固定すること

(12) 試合実施の有無の問い合わせは、下記に対して行うこと。

・宮城県中体連ソフトボール専門部WEBサイト(5:45～)

<http://miyagisoftball27.jimdo.com/>

・宮城県中体連WEBサイト(5:45～)。

<http://miyagi-ctr.com/>